平成23年度事務事業評価（平成22年度実施事業） 第3次評価結果表

市：現状維持

事業名	貢献度	優先度	総合評価（今後の方向性）	担当課
防犯事業	B	B	防犯活動の推進の上で、貢献度、優先度ともに高い事業である。地域での活動実態を把握すること。	環境生活課
人権啓発事業	B	B	人権意識の高揚と人権啓発の推進には、貢献度、優先度ともに高い事業であり、人権協議会委員と連携し、事業を推進すること。	環境生活課
家族介護慰労事業	B	B	支給金額については、県下でも中くらいの位置であり、金額の変更は行わない。現状のとおり、実施すること。	福祉事務所
外出支援サービス事業	B	B	在宅福祉サービスの充実の上では、貢献度、優先度ともに高い事業である。不正な要求を未然防止するため、抽出チェックを行い、適正な執行管理に努めること。	福祉事務所
高齢者向け住宅改修助成事業	B	C	在宅福祉サービスの充実の面から、貢献度は高い事業である。対象者に事業活用が図られるように、周知に努めること。	福祉事務所
児童デイサービス給付事業			義務的経費であるので、貢献度・優先度評価は行わない。現状のとおり、実施すること。	福祉事務所
補装具費支給事業			義務的経費であるので、貢献度・優先度評価は行わない。現状のとおり、実施すること。	福祉事務所
障害者交通費助成事業	B	C	増額や地域格差の是正については、外出支援サービス、おでかけパス等の見直しと併せて整理することとし、現状のとおり実施すること。	福祉事務所
障害者向け住宅改修助成事業	B	C	現状のとおり、事業を実施すること。	福祉事務所
勤労・就業支援事業	C	C	現状のとおり、実施すること。	商工農林水産課
ふるさと就職促進事業	B	B	地元就職・UJIターンの就職の促進の上で、貢献度、優先度ともに高い事業である。今後とも制度のPRに努め、地元就職を推進すること。	商工農林水産課
農地・水環境保全向上対策事業			義務的経費であるので、貢献度、優先度評価は行わない。平成24年度以降の国の動向を把握すること。	商工農林水産課

平成23年度事務事業評価（平成22年度実施事業） 第3次評価結果表

森林整備地域活動支援事業	B	C	森林整備の促進の上では、貢献度の高い事業である。平成24年度からの国の動向の把握に努めること。	商工農林水産課
並行在来線対策事業	A	A	利用促進を図りながら、会社並びに県への要望活動を進めること。	都市整備課
水道布設等事業資金融資事業	B	B	組合営水道の整備推進の上で、貢献度、優先度ともに高い事業である。融資制度の状況を把握し、見直し等も検討しながら事業を実施すること。	ガス水道局
排水設備設置資金貸付事業	C	C	水洗化率向上を図るため、融資制度の現状を把握し、見直しも検討しながら事業を施すること。	ガス水道局
AED設置事業	C	C	市営・民営の幼稚園、保育園全てにAEDが配置済であり、今後は講習会の充実に努めること。	教育総務課
特別保育事業	A	A	子育て環境整備を図るうえで重要な事業であり、市民ニーズの把握に努め、事業を実施すること。	こども課
遊戯室わんぱくホリデー事業	C	C	利用ニーズを把握しながら、事業の実施に努めること。	こども課
休日お助け保育事業	C	C	市民ニーズの把握に努め、未満児保育、時間延長について、検討すること。	こども課
地域で行う子育て支援事業	C	C	ファミリーサポート事業については、全市的に拡大の必要があるか検討すること。	こども課
妊産婦健診事業	B	B	全国で17都市しか実施していない助成制度（回数無制限）であるので、市民へのPRに努めること。	こども課
子どもインフルエンザ接種助成事業	A	A	疾病予防をするための経済的負担の軽減という意味では、貢献度、優先度ともに非常に高い事業である。接種による効果分析を行いながら、事業を実施すること。	こども課
ヒブワクチン接種助成事業	B	B	感染による重篤化防止をするための経済的負担の軽減という意味では、貢献度、優先度ともに高い事業である。接種による効果分析を行いながら、事業を実施すること。	こども課
肺炎球菌ワクチン接種助成事業	B	B	感染による重篤化防止をするための経済的負担の軽減という意味では、貢献度、優先度ともに高い事業である。接種による効果分析を行いながら、事業を実施すること。	こども課

平成23年度事務事業評価（平成22年度実施事業） 第3次評価結果表

むし歯予防事業	B	B	現状のとおり、実施すること。	こども課
乳幼児すこやか健診事業	A	A	子どものすこやかな成長支援にとって、貢献度、優先度ともに高く、重要な事業である。現状のとおり実施すること。	こども課
親子健康訪問事業	B	B	子どもの成長支援や育児不安の軽減を図る上で、貢献度、優先度ともに高い事業である。現状のとおり、実施すること。	こども課
保育職員研修事業	A	A	保育士・幼稚園教諭の資質向上の上で、優先度の非常に高い事業である。保育士等のニーズに応じた研修会内容の精査に努めるとともに、基礎的、専門的知識の習得する等、より一層の資質向	こども課
中学校情操教育推進事業	B	B	質の高い学校教育の推進の面で、貢献度、優先度ともに高い事業である。生徒の感動・満足度が高まるような事業実施に努めること。	こども課
いじめ・不登校等対策支援事業	B	B	一人ひとりの教育的ニーズに対応する体制の整備の面で、貢献度・優先度ともに高い事業である。初期対応の充実を図り、長期欠席者を増加させない対策を進めること。	こども課
図書館資料整備事業	B	B	図書館機能の充実を図る上では、貢献度、優先度ともに高い事業である。資料整備については、現状のとおり、実施すること。また、開館時間の延長や図書館サポーター等の人材確保について、	生涯学習課
スポーツ推進事業	B	B	生涯スポーツの促進を図る上で、貢献度、優先度ともに高い事業である。今後とも、交流人口拡大や中学生を始めとする市民の競技力向上に努めること。	生涯学習課
美術展覧会事業	B	C	優れた芸術文化の鑑賞機会の提供を図る上で、貢献度が高い事業である。今後とも、出品者、来場者の増加が図れるように、事業を実施すること。	文化振興課
埋蔵文化財発掘調査事業			義務事業であり、貢献度、優先度の評価は行わない。 効率的な事務執行を行うこと。	文化振興課
救助資機材整備事業	B	B	消防力の強化の上で、貢献度、優先度ともに高い事業である。必要に応じ、救助資器材の更新に努めること。	消防本部
遠隔地AED普及事業	B	C	AED整備地区のアンケートを実施し、活用状況体制について、調査を行うこと。	消防本部

件数　　37件

平成23年度事務事業評価（平成22年度実施事業） 第3次評価結果表

市：拡大・拡充

事業名	貢献度	優先度	総合評価（今後の方向性）	担当課
地区集会施設整備助成事業	A	B	耐震補強が必要な施設について、耐震診断費用の一部助成を拡大すること。	企画財政課
新エネルギー導入支援事業	B	B	太陽光発電設備等の設置の拡大に向けて、周知等を行うこと。	環境生活課
公害対策事業	B	B	当面、放射線検査を月1回実施すること。柏崎、志賀原発の事故を想定した対応を検討すること。	環境生活課
ジオパーク推進事業	A	A	市民の受入れ機能や市民全体の意識向上に努めること。 全庁的にジオパークの取り組みを推進するため、職員の意識向上に努めること。	交流観光課
見本市等出展促進事業	C	A	見本市等出展による効果を検証し、経済効果があがるような制度の見直しを行うこと。	商工農林水産課
妊娠アシスト事業	B	B	不妊治療費の限度を現状の2回から3回に拡充すること。	こども課

件数　　6件

平成23年度事務事業評価（平成22年度実施事業） 第3次評価結果表

市：業務改善

事業名	貢献度	優先度	総合評価（今後の方向性）	担当課
まちづくりパワーアップ事業	B	B	2年間の立上げ期間の支援内容の見直し行い、事業継続ができる体制支援に努めること。	企画財政課
鳥獣対策事業	B	B	有害鳥獣の捕獲、駆除について、試行錯誤しながら有効な手段を検討すること。	環境生活課
花いっぱい推進事業	B	B	来訪客の目に触れる場所の花壇整備について、活動団体の育成も含め、検討すること。	環境生活課
緊急ショートステイサービス事業	B	B	ショートステイとショートステイの間の利用については、緊急ショートステイ本来の目的から離れている。事業のあり方を見直すこと。	福祉事務所
寝具洗濯乾燥サービス事業	B	C	要綱の見直しを行い、対象を明確にすること。	福祉事務所
老人クラブ助成事業	B	C	補助金交付要綱の見直しをすること。その際に、会員数に応じた補助額を検討すること。	福祉事務所
シルバー人材センター運営助成事業	B	C	補助金の考え方を明確にすること。併せて、シルバー人材センターの運営形態の改善（単価の見直し等）の必要性も指導すること。	福祉事務所
修学資金貸与事業	B	B	市内に不足する看護師の確保について、要件緩和を行い、対象者の拡大を図ること。	健康増進課
大学連携臨床研究支援事業	B	B	研究支援件数を見直し、事業継続に努めること。	健康増進課
観光イベント助成事業	B	C	観光協会の体制の構築に努めること。補助金交付基準を明確にし、補助団体との調整も進めること。	交流観光課
都市交流事業	C	C	都市交流について、知らない市民も多いので、広報紙で情報提供をする等市民周知に努めること。	交流観光課
人材育成支援事業	B	C	地域の主要産業の人材確保を促進するため、補助対象の研修項目と資格項目の見直しを行い、市内労働者等の能力向上に努めること。	商工農林水産課

平成23年度事務事業評価（平成22年度実施事業） 第3次評価結果表

商店街等活性化イベント助成事業	C	C	ロの字商店街全体の活性化に向けて、商業者と協議を進めること。	商工農林水産課
内水面漁業資源放流事業	D	D	補助対象基準の見直しを行うこと。	商工農林水産課
畜産振興事業	D	E	畜産農家支援事業補助金は廃止し、新たな支援策を検討すること。	商工農林水産課
林業振興事業	C	C	民有林整備の推進に向け、事業内容の見直しを行うこと。	商工農林水産課
農作物有害鳥獣対策事業	B	B	効果的な手法を検討しながら、事業を実施すること。	商工農林水産課
生活交通確保対策補助事業	B	C	通院、通学等の交通手段を確保するため、実情に応じた対応に努めること。 能生～労災線については、特別交付税も考慮し、調整を進めること。	都市整備課
民営保育所児童通園費助成事業	B	B	市全体として、補助基準の統一を図ること。	こども課
地域公民館事業	B	B	生涯学習機会の充実と社会教育の推進を図る上で貢献度、優先度ともに高い事業である。新公民館体制の構築に向けて、事業の見直しを図りながら、参加者増加に努めること。	生涯学習課
成人教育事業	B	B	費用対効果を考え、参加しやすい内容の見直しを行う等、参加者の確保に努めること。	生涯学習課
青少年活動事業	C	B	費用対効果を考え、事業内容を見直す等、効率的な事業執行に努めること。	生涯学習課
文化活動支援事業	B	C	金額面での支援だけではなく、関係団体の育成に努めること。費用対効果の面から、効率性も検討すること。	文化振興課
防災備蓄品整備事業	B	A	災害に対応した避難施設の見直しをするとともに、防災資器材の集中配置する拠点化の検討をすること。	消防本部
消防団防災機器整備事業	B	B	糸魚川、青海地域の消防団統合（拠点化）について、プランを策定して防災機器整備に努めること。	消防本部

件数　　25件

平成23年度事務事業評価（平成22年度実施事業） 第3次評価結果表

市：統合・縮小

事業名	貢献度	優先度	総合評価（今後の方向性）	担当課
中心商店街等活性化事業	D	D	青海通り線商店街整備については、青海通り線商店街整備事業に分割する。空き店舗対策については、ビジネスチャレンジ事業に統合する。	商工農林水産課
農業資金貸付事業	D	D	スーパーM（制度資金助成事業）や県の近代化資金など他の有利な資金があり、事業を縮小する。	商工農林水産課

件数　　2件

平成23年度事務事業評価（平成22年度実施事業） 第3次評価結果表

市：休止・廃止

事業名	貢献度	優先度	総合評価（今後の方向性）	担当課
福祉有償運送活動支援事業	B	C	当初からの目的が達せられる見込みであるため、平成23年度で事業を廃止する。	福祉事務所
水産業振興事業	D	D	平成24年度までの期限付き事業であり、事業を廃止する。	商工農林水産課

件数　　2件